

通信小海

原発震災を防ぐ

署名を

牧師 水草修治

「東海地震は来る可能性があるのではなく、来ない可能性はない。」茂木清夫、元地震予知連会長・東大名誉教授はこのように言っている。実際、過去のデータを見れば、マグニチュード8強の東海地震は一四九八年、一六〇五年、一七〇七年、一八五四年と、百年から百五十年周期で起きており、昨年が安政の大地震から百五十年目にあたる。日本地震学会は「二〇〇五年には東海地方の地殻変動は限界に達し、東海地震は3年以内に起きる」と結論づけた。実際、近年浜名湖周辺

「今月の御言葉」
「こういつわけで、なすべき正しいことを知つていながら行なわれないなら、それはその人の罪です。」ヤコブ四章十七節

で前兆とみられるスロースリップという現象が観察されている。日本地震情報研究会によれば、六八四年の地震から一九四六年までに東海・南海で起きた巨大地震は十二回。うち五回は十二月に集中している。

過去の東海・南海地震も大きな被害をもたらしたが、それでも地震が去れば復興の槌音が響いた。今回の巨大地震が深刻なのは、その想定震源域の真上に中部電力浜岡原発が稼動していることである。もしこれが破綻し放射能が放出されると、静岡県のみならず、南西の風五メートルならば十二時間で関東一円は灰の灰によっておおわれる。復興の槌音はチェルノブイリのように永久に聞かれないであろう。

現在、浜岡原発にある五つの原発のうち、老朽化している一号機から三号機までは休止メンテ中で、四号機・五号機が稼動中。だが、この二機とて揺れの想定は六ガル。

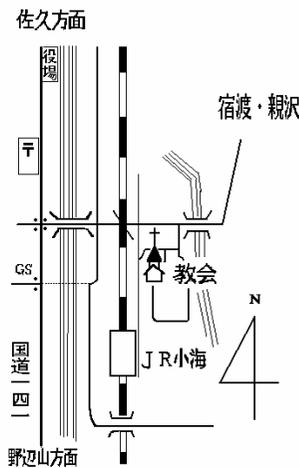
日本同盟基督教団小海キリスト教会

牧師 水草 修治

会堂・牧師館 南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七

千三八四一一二 二六七九二四七七六

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 サンデースクール 午前八時四五分

朝礼拝 午前十時から十二時半

夕礼拝 午後七時半から八時半

水曜日 祈り会 午前十時半と午後七時半

*海尻・川上・野辺山で毎月家庭集会あり。

*個人的な聖書勉強や個人的なご相談に
も乗ります。

ところが阪神大震災は八一八ガル、中越地震の揺れは二五一五ガルだった。専門家は次のように書いている。「地震が起きたとき、大口径の配管が破れると、冷却水は沸騰して失われてしまいます。冷却水がすべて失われると、核分裂反応は止まりません。けれども崩壊熱による発熱のため、燃料集合体の温度は10、60分後には数千度になり、溶け落ちます。これを、メルトダウンといいます。30〜120分後には原子炉の鋼鉄も溶かしてしまいます。溶け落ちた燃料が水に触れると水蒸気爆発を起こします。原子炉格納容器が破壊されればチェルノブイリを上回る大事故になります。」

今すべきことは、原子炉を停止しすること。三ヶ月かけて冷やした状態で東海地震を迎える用意をすることである。そうすれば実際に巨大地震が襲ったとき、原子炉というものがどうなるかを、「やや安全に」観察できるであろう。いまだかつてM7の地震を経験した原子力発電所は世界に存在しない。ところが、近々浜岡原発を襲おうとしているのはM8強である。やはり停めた上で避けられない地震を迎えたい。

地震を止めることは人間にはできない。しかし、今ならまだ原発を止めることはできる。神は人を、この世界を耕し、守るためにこの世に置いてくださった。破壊するためにお与えになったのではないのである。

「神である主は、人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。」

創世記二章十五節

「浜岡原発停止のための百万人署名」

三月一日集計で七十五万人。今回の署名は四月十五日〆切に延期されました。当教会に署名用紙がありますのでご協力ください。

*参照

<http://www.stop-hamaoka.com/index.html>

「野宿者炊き出し支援」

信州から野宿者支援

現在おかげさまで、お米は十分に満たされています。いま募っているのは未使用の割り箸・未使用切手のみです。

未使用切手は大いに役立っています！

野宿者への炊き出し支援のために、ご協力を感謝します。信州の支援は東京方面にとどまらず、広島まで広がっています。

昨年一年間に広島・夜廻りの会廿日市宛てに六十五回食料を送ることができました。うち五十七回は寄せられた未使用切手で送料に充てました。年間の送料合計八四八五円のうち七五四円を未使用切手で充当。送った食料は佐久地域内の製パン業者のパンが中心でした。

*活動報告書「ひびき」は高原のパン屋さんと教会に置いてあります。

山谷農場新事務局（藤田 寛）

小海町芦谷ヒルサイドコーポ一 二号室

毎週金曜・土曜はあります。

電話090・1436・6334

〒270-0427 786・2088

メール nyoto@beige.ocn.ne.jp

カンパ〆振替 一四 四五三七九六

この傑作を見よ

「神は、この光を昼と名づけ、このやみを夜と名づけられた。こうして夕があり、朝があった。」創世記 一・五

太陽がなければ地球はむろん死の星であるが、もし地球が自転していなければどうなるか。夜昼なく日光が注がれて、片面は灼熱の砂漠、片面は寒冷地獄。自転しているからこそ、地球は生命に満ちている。また、地球は傾いて公転しているからこそ、生き物の住める場所が広くなり、四季が訪れ、さまざまな生命の豊かな営みがある。自転と公転、すばらしい仕組み。

「風は南に吹き、巡って北に吹く。巡り巡って風は吹く。しかし、その巡る道に風は帰る。川はみな海に流れ込むが、海は満ちることがない。川は流れ込む所に、また流れる。」伝道者の書 一六・七

日光に温められて大気と水は循環する。川の水は流れ海に注ぐが、海はあふれない。海水は日光に温められて水蒸気となり、上空で冷やされて雲となる。雲は循環する風に運ばれて内陸に移動して、そこで雨を降らせ大地を潤し、ふたたび川に注ぐ。水を雲にして内陸に移動させるとは、なんとエレガントなアイデアだろう！

川が運ぶのは水だけではない。豊かな森の根っこから豊かな滋養を海まで運ぶ。その滋養は河口部の海藻を豊かに育て、その海藻は魚たちの産卵場・幼魚たちの巣となる。うーむ、実によく工夫されている。

「神が、『地は植物、種を生じる草、種類にしたがつて、その中に種のある実を結ぶ果樹を地の上に芽生えさせよ。』と仰せられると、そのようになった。」創世記 一・十一

植物は太陽エネルギーで水と炭酸ガスを合成して成長し、花を咲かせ、実をならせ、動物たちに提供する。動物たちは植物を食べ、炭酸ガスとうんちを出し、土の中の微生物はうんちを分解し植物の栄養とする。また植物も植物だけでは生きられない。蜂や蝶が受粉を助けてくれてこそだ。植物なしに動物

なく、動物なし植物もない。

動物の腹の中にも微生物と寄生虫が住んでいて消化を助け、毒消しもしてくれている。現代人にアレルギー・花粉症が激増したのは、薬で腹の中の寄生虫(共生虫)と有用微生物を殺してしまったかららしい。動物も植物も微生物なしには生きられない。

微生物のミクロの世界、いや分子・原子の世界から、地球の自転・公転というマクロの世界までが、実に見事に組み合わせられているシステムをなしている。傑作である。あなたはこの世界を見て、なお、これは偶然でできたものにすぎない。創造主などいないのだろうか？

「なぜなら、神について知りうることは、彼らに明らかであるからです。それは神が明らかにされたのです。神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。……造り主こそ、とこしえにほめたたえられる方です。アーメン。」ローマ書一章抜粋

福音指圧教室に どうぞ

うれしいですね。春が来ましたね。でも、なまっただからだで、重い堆肥袋をヨイショと持ったら、グキツといきますからご注意ください。この季節、骨骨院に行列ができません。

福音指圧教室に來られて、固くなった足腰肩など、効果的にほぐしてはいかががでしょうか。そして、心のコリも。

日時 四月十七日(日)

午後二時から三時半

場所:小海キリスト教会会堂

持ち物:バスタオル、タオル、靴下

無料です

春の子ども会 においでよ

四月二十三日(土)

午後一時半 三時

場所:丘の上の教会堂

内容:お話し・ゲーム・おやつ

今年の春の子ども会の「めだま」は菅原理之先生の絵本の読み聞かせです。じーんとくる絵本?あははと楽しい絵本でしょうか?あははと楽しくて、じーんと心にくる絵本でしょうか?

結婚式のお問合わせは リエックスへ

93 2218(担当 中村茂樹)

結婚をする時はだれしも、幸せな夫婦、幸福な家庭を夢見ています。愛と尊敬と慰めの約束を、「死が二人を分かつまで」守ろう、と。夢が実現するには、夫婦の愛の育てかた、夫と妻の役割、子育ての知恵など、二人でぜひ知っておきたいことがあります。リエックスの結婚式の特色は、高原の美しいチャペルだけでなく、ほんとうの牧師がこんなに大切に、しかも誰も教えてくれない幸せへのかぎをお二人にお渡しすることです。

通信小海五月号は連休前、四月二十五日(月)に発行予定です。